

平成29年4月から

「社員」が「会員」になります。



赤十字が行う活動は、皆様からの資金協力とボランティアで支えられています。これまで赤十字の支援者を「社員」と呼びしていましたが、4月から「会員」と改めます。支援いただける皆様は、単なる協力者ではなく、赤十字のかけがえのないパートナーです。今後も、皆様にとってわかりやすい、参加しやすい赤十字を目指します。

なぜ？

社員という名称が、株式会社などの社員や日本赤十字社の職員を連想することがあるので、わかりやすくしました

どう変わる？

これまでのご寄付の方法は変わりません。但し、年2,000円以上のご協力いただける方々には、日本赤十字社の運営に参画する支援者として日本赤十字社埼玉県支部から機関誌を送付させていただきます。

赤十字活動資金へのご協力 ありがとうございます。

皆様のご協力により、平成28年4月に発生した熊本地方を震源とする地震では、日本赤十字社埼玉県支部からも職員を派遣し、被災者の医療救護を行うことができました。

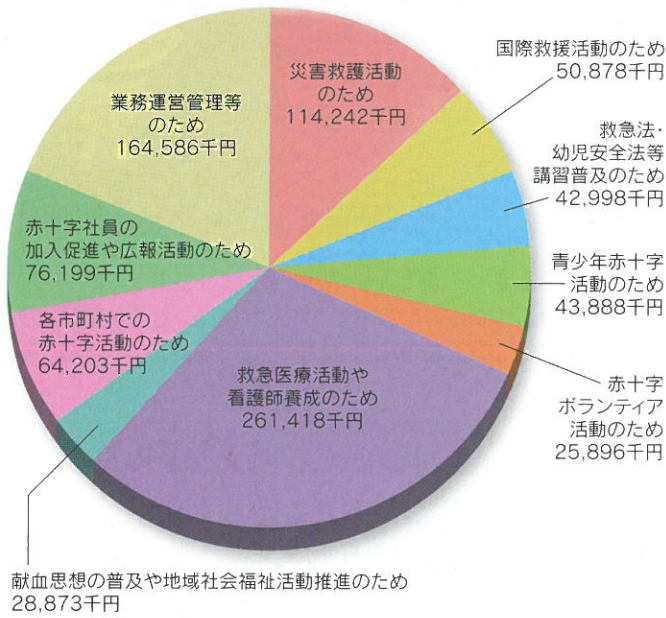
災害時における日本赤十字社の強み

- ①全国、どこで災害が発生しても、迅速に救護活動を開始できる
- ②資機材・装備(テント・車両・通信機器・医療資機材など)が豊富
- ③全国498班(県内10班)の医療チームによる切れ目のない支援が可能

平成27年度決算報告

みなさまに支えられ、次のように活用させていただきました。
ご協力ありがとうございました。

支出合計 873,181千円



上記決算額は決算承認日の都合上、本掲載は1ヵ年遅れとなります。

平成29年度事業予算

予算合計 666,568千円



熊本地震災害救護活動で診察するさいたま赤十字病院の医療救護班



さいたま市で行われた九都都市合同防災訓練の写真

災害救護活動のため	110,688千円
救急法・幼児安全法等講習普及のため	54,117千円
赤十字ボランティア活動のため	27,947千円
国際救援活動のため	11,575千円
救急医療活動や看護師養成のため	61,643千円
青少年赤十字活動のため	44,032千円
赤十字会員の加入促進や広報活動のため	92,808千円
献血思想の普及や地域社会福祉活動推進のため	41,361千円
各市町村での赤十字活動のため	65,000千円
業務運営管理等のため	157,397千円

活動資金のご協力について

赤十字の活動は、赤十字の理念や活動にご理解いただき、目安として年額500円以上のご協力を頂いた方(会員)からの会費と、それ以外の方からご協力頂いた「寄付金」によって支えられています。

5月(5/1~5/31)に実施される赤十字会員増強運動について

- 多くの方々のあたたかいご支援により支えられている赤十字の活動が、この運動を通じ、赤十字についてのご理解を深めていただき、事業が円滑に展開できるよう、みなさまにご支援をお願いする運動です。
- 運動期間中は、赤十字協賛委員、赤十字奉仕団、町内会・自治会等のご協力により、会員への加入と活動資金納入のお願いのため、ご家庭を訪問させていただくことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

あなたの気持ちがこのような活動も支えています。



救援物資(一例)



講習普及用資機材



青少年赤十字事業活動



救急法講習の様子

救援物資	
毛布(1枚)	¥1,300
安眠セット(1人分)	¥2,000
緊急セット(1世帯4人分)	¥3,000

訓練用人形(1体)	¥151,000
AED(訓練用1台)	¥89,000

子どもたちの「生きる力」を育む活動、大切な人のいのちを守る活動の普及も行なっています。

埼玉県内で、512校(幼稚園、保育園を含む)が青少年赤十字加盟校として、活動をしています。

大規模災害に備えた救援物資(毛布・安眠セット・緊急セット等)の充実、災害からいのちを守る講習会の実施及び講習に必要な資機材等の整備のため、日本赤十字社埼玉県支部では皆様からご協力いただいた活動資金を元に活用しています。

詳しくは、埼玉県支部ホームページをご覧ください。当支部または各市(区)役所、町村役場等の赤十字担当窓口へお問い合わせください。

